

『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!

最終仕上げはプリンター？

お便りや提案書の作成を行う上で、色は非常に重要な役割を持ちます。カラコミュvol.6では、パソコン画面の色と印刷物の色味が違う理由とその対処法についてお伝えしましたが、印刷するプリンターによっても印刷物の印象が違ふと感じた事はないでしょうか？これには印刷方式の他に「**トナー(粉)**」と「**インク(液体)**」が関係しています。どちらも印刷する時に色をつける為の物ですが、お互いに全く違う性質を持っていて、与える印象にもそれぞれ特徴があります。言い換えると、用途によって印刷するプリンターを選択する事で、受け取り手に伝えたい印象を更に底上げする事が可能なんです！今回は、デザインの仕上げにかかせない「**カラー印刷**」に目を向けて、まずはカラー印刷物の原理を見ていきましょう！

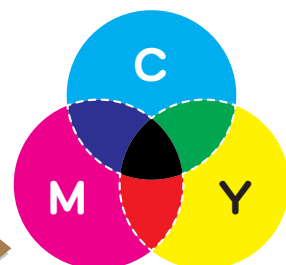
①印刷物の基本色

インク・トナーの基本色



この3色を重ねると...

重なった部分から **赤・青・緑・黒** が出来る！



色を
分解すると...

基本の3色



基本色を重ね合わせて出来た4色



色をつけていない部分



白色はインクを使わず表現します！

合計8色が出来上がる！

②一般的なカラー印刷



拡大してみると...



C・M・Yの3色が小さな点で配列されていて、インクを重ねる事で色が作られるんだね！

でも 黒色はC・M・Yを混ぜ合わせても完全に再現できないので...



色の再現には **C・M・Y + K** の4色が欠かせない！

私たちが普段手にするカラー印刷物は、上の図のような方法で色の表現を行なっています。印刷方法には大きく2種類あり、「**レーザープリンター(トナー)**」か「**インクジェットプリンター(インク)**」が一般的です。どちらも構造上特性があり、色の表現方法が違います。そのため、出来上がった印刷物から感じる印象も違ってきます。

レーザープリンター(トナー)

粉状の塗料を熱で紙に圧着し色をつける

カッチリしている 高級感 固い 鮮明

与える印象

インクジェットプリンター(インク)

液状の塗料を紙に吹き付けて色をつける

安心感 穏やかな 柔らかい 親しみやすい

「トナー」と「インク」、どちらかを選ぶことも**色のデザイン**であると思えてきたのではないのでしょうか？受け取り手に合わせたプリンターの選択で、想いをさらに伝えやすくなるのではないかと思います。

もちろんどちらか一方しか所持をしていない方もいるとは思いますが、**それぞれの特性を知っておく事も理想の印刷物に近づく近道になる**と思います。

デザインの種

今回のテーマ:

「カラー印刷の抵抗感を抑える一工夫」

お便りや配布物の印刷を行う際に「カラーで印刷したいけど、インクをたくさん使うのは抵抗がある…」という方も多いのではないのでしょうか？ そんな時にオススメの、印象を大きく変えずに少しでもカラー印刷に対する抵抗感を抑える原稿作りのコツがあります。印刷の原理を知った今だからこそできる、データ作成時のコツをお伝えしたいと思います。

表面では、カラー印刷はインクを重ねる事で色を作っているとお伝えしました。つまり、インクを重ねる量を意図的に減らしてあげるだけで、簡単にカラー印刷に対する抵抗感を抑える事ができます。では実際に試してみましょう！

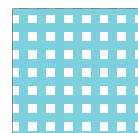


1色ベタ塗りの背景を水玉模様に変更！

細かい水玉模様であれば、ベタ塗りとは印象は変わりません。その他にボーダーやチェック柄も活用できますよ！



ボーダー



チェック

「白抜き」を活用しよう

背景色が濃い時は文字を白色にすることでくっきりと見え、少しでもインク消費を抑えられます。

このように印刷の原理を知れば、データ作成時に少し意識するだけで印象を変えずにインクを重ねる量を意図的に減らす事ができます。この方法だったらカラー印刷に対する抵抗感を自分の力で取り払う事も可能なので、ぜひお試しください！



イロイロ雑学



色によって時間の感覚を左右された事はありませんか？ 例えば「赤を基調にした部屋」と「青を基調にした部屋」では体感時間が大きく異なると、ある実験で発表されています。赤色等の暖色系の部屋では、本当は40分しか経っていないのに「1時間経った感じがする」と時間の感覚を鈍らせる効果があり、ファーストフード店やラーメン店は暖色系でまとめ回転率を上げる狙いがあります。反対に青色等の寒色系は時間の流れを遅くする効果があり、1時間を「40分しか経っていない」と錯覚させ、病院などの待合室で待たされるイライラを半減させています。色の効果を知った上でインテリアを変えてみるのも面白いですよ！

色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを！

次回も

Let's カラコミュ!!